

年度	学年
2022	高2

教科	工芸
科目(授業名)	高2工芸
単位数	週2時間
区分	選択科目

授業概要	<p>工芸授業では、刃物、火、薬品など危険を伴う作業が多い。そのため、自分が使用する道具や制作している作品に集中することが必要となる。まずしゃべらず、他の事に気持ちが囚われないよう注意を払いながら制作をしていくよう指導する。その制作態度が完成度の高い作品を生み出し、満足のいく成績に通じることを理解してもらい、生半可な気持ちで授業に参加しないよう、生徒に求めていく。工芸はデザインし制作し、実際に生活の中で使用するものを生み出す授業である。それに加え「販売したら売れる」レベルまで引き上げて指導する。</p>
到達度目標	<p>①金属・ガラス、粘土(陶芸)それぞれの制作過程で使用する道具を体験、マスターする。 ②用途に合わせたデザインと使い易さを追求する。 ③意匠を学び、工芸の歴史知識を持った上での制作から完成までを体験させる。</p>

教科書	なし			
補助教材 参考図書など	なし			
課題	冬休み: ストールの端処理を済ませておく			
成績評価方法	仕上げ重視の中、説明把握度合い、提出状況、実生活で使用することを意識した完成度を見る。			
定期試験	前期中間	前期期末	後期中間	学年末
	なし	なし	なし	なし

授業計画

学期	学習内容	備考
	<p>陶芸 ロウソク立て制作 カップ&ソーサーのデザイン</p>	<p>粘土に慣れる。ロウソクを立てられる器をデザインし制作する 使いやすいカップ&ソーサーの形を追求し、デザインする。</p>
	前期中間試験	
	<p>ロウソクのデザイン</p>	<p>ロウソクを土台として、色ロウソクシートを切り貼りして新たなロウソクをデザインし、創り上げる。</p>
	前期期末試験	
後期	<p>陶芸 カップ&ソーサーの制作 バングルの制作</p>	<p>口辺の形、取っ手の形、皿の形などあらゆる部分をデザインし、制作する。 真ちゅうの板を糸鋸で切り、腕に付けたくなるバングルをデザインし制作する。</p>
	後期中間試験(学年末試験)	
	<p>染色</p>	<p>ストールは三つ編み染め銀線を利用した七宝焼きを学び、制作する。</p>
	学年末試験	